

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
 ▲警告、△注意の表示で区分して説明しています。
 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

- ⊘ 絶対に行わないでください。
- ⚠ 必ず指示に従って行ってください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
⊘ 禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)
	傾斜天井や竿ぶち天井、補強のない天井には取付けられない。天井面取付専用器具です。 (指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因)
	ライトユニット単体で使用しない。 (落下・感電・火災の原因)
⚠ 厳守	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
⊘ 禁止	高温(35℃を超える)、高湿度(85%RHを超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。 (劣化による落下の原因)
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けられない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
	屋外や風呂場など水や湿気が多い場所で使わない。一般屋内用器具です。(火災・感電の原因)
⊘ 禁止	器具を密集して取付けない。(200mm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。 (火災・感電の原因)

お知らせ

- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
- 油煙のある場所では使わないでください。光学特性が低下する原因となります。
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。すき間が発生することがあります。
- 天井直付形専用器具です。レースウェイへの取付けや吊り具による吊下げ取付けはできません。背面からほこりや虫が入り不具合の原因となります。
- 商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- 防犯カメラ等を使用する際は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- 電源事情の悪い場所では、LEDがちらつく恐れがあります。

保証とアフターサービス

保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。

- 無償修理 照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
- 無償提供 LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

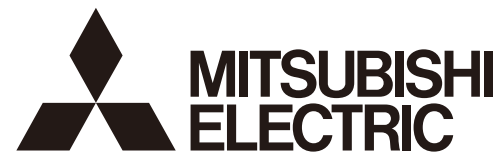
異常時の処置

▲警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因) 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社 連絡先 三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
 ☎(0467)41-2729 (営業本部)
 ☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)



E769Z571H20

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきありがとうございました。

保管用

三菱 LED 照明器具

三菱電機照明製 My シリーズ専用器具本体とライトユニット(110形2本組み)の組み合わせで性能を満足します。

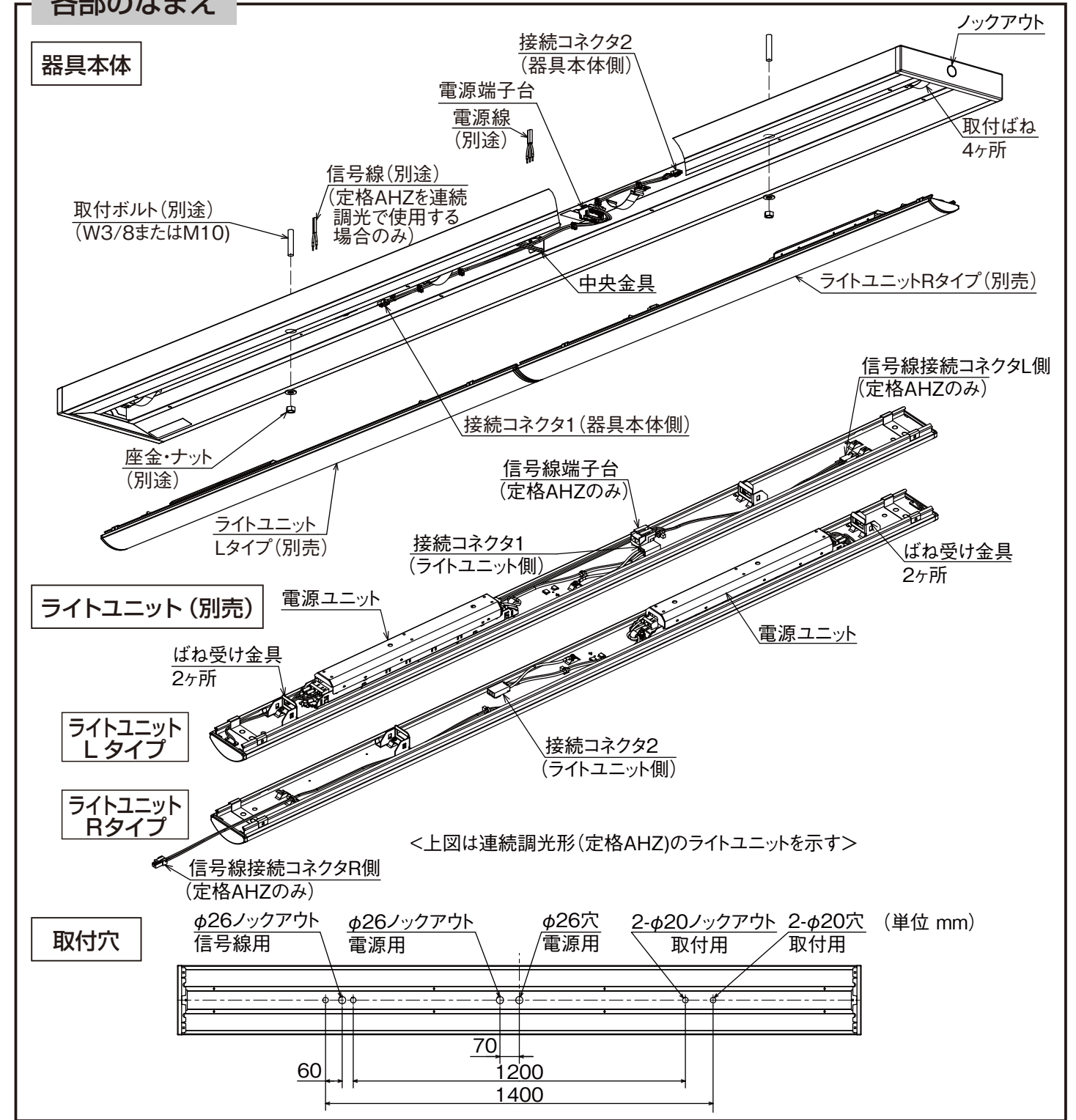
LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズ 110形 直付下面開放形

形名 **EL-LHX82500**

- 施工の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。
- 電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

据付工事説明書

各部のなまえ

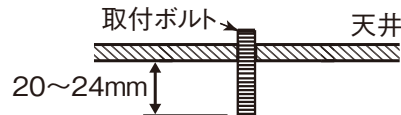


各部のなまえと取付けかた **⚠ 警告** 器具の取付けは据付工事説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

1 取付前の確認

- 器具質量(約 5.2kg + ライトユニット質量) 及びライトユニットの引き下げ力(60N) に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
 - ・ライトユニットの質量はライトユニット同梱の取扱説明書を確認してください。
 - ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
- 取付ボルト長さは、天井面より 20 ~ 24mm 以下にする。

⚠ 警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)



2 本体を取付ける

- 電源線・アース線を本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- 定格 AHZ を連続調光で使用する場合は、付属のコードブッシュを必要な穴にはめ込み、信号線を引き込む。
- 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。(ゆるみ止め: ダブルナット・歯付座金・バネ座金など) ナットの締付トルクは 0.7 ~ 1N・m です。

⚠ 警告
取付けが不完全な場合落下の原因

お願い
本体(板金)を持って施工する。
(側板(樹脂)を持っての運搬や施工は変形や破損の原因)

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

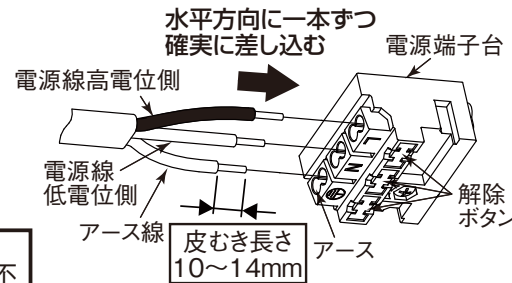
⚠ 警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種)接地工事が必要です。>

- 電源線を電源端子台の差し込み穴に一本ずつ水平方向に確実に差し込む。

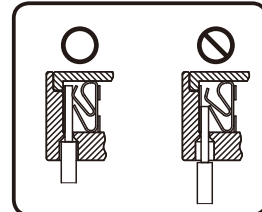
- 適合引込み: ϕ 1.6mm 単線 電源線 ϕ 2.0mm 単線

※器具内に送り配線をする場合は、エコケーブルソフトタイプ ϕ 1.6EM-EEF を使用する。



⚠ 警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

⚠ 警告
電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにもむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



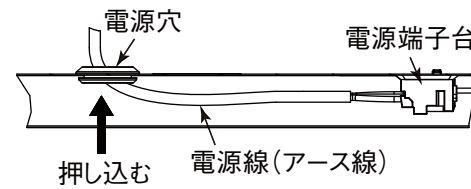
⚠ 警告
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

○電源端子台の送り総容量はライトユニットの明るさタイプで変化します。(下表参照)

明るさタイプ	送り総容量
13800lm タイプ	1 2 A
10400lm タイプ	1 4 A
6400lm タイプ	1 6 A
5000lm タイプ	2 0 A

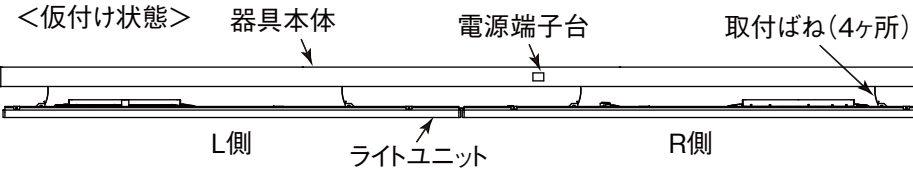
- 電源線を電源端子台から取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、解除ボタンにまっすぐに差し込む。

- 電源線(アース線)の接続後、余分な電源線はライトユニットとの当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を押し付ける。



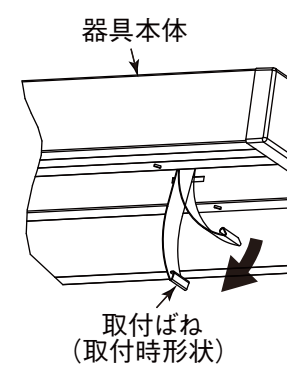
4 ライトユニットを本体に取付ける

- ライトユニットはL側、R側があります。器具本体の電源端子台側にR側を取付ける。



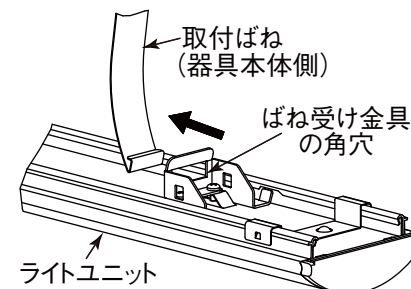
- 器具本体側にライトユニットを仮付けする。
 - 器具本体の取付ばねを下げる。

お願い
取付ばねを必要以上に曲げない (取付ばね変形の原因)

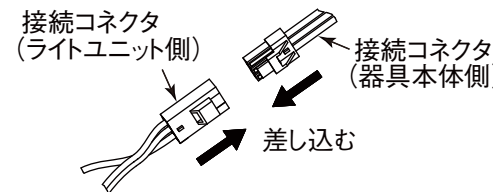


- 取付ばねをライトユニット両側のばね受け金具の角穴に入れる。

⚠ 注意
片側のみ取付ばねを受け金具の角穴に入れた状態で保持しない。(落下の原因)



- 器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。



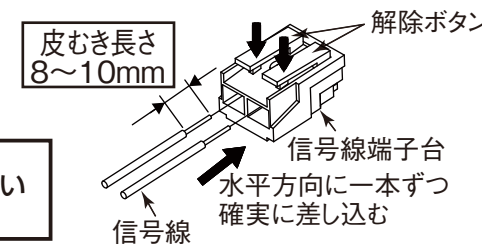
⚠ 警告
通電中、コネクタの抜き差しをしない (感電の原因)

- 信号線を信号線端子台に接続する。(定格 AHZ を連続調光で使用する場合のみ)

- 信号線を信号端子台の差し込み穴に水平方向に一本ずつ確実に差し込む。適合引込み信号線 ϕ 0.9mm ~ ϕ 1.2mm FCPEV-1P 単線 接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。
 - ※器具内に送り配線をする場合は、エコケーブルソフトタイプ ϕ 0.9EM-FCPEE-1P を使用する。
- 調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。

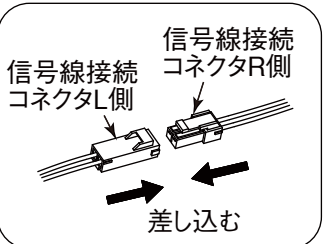
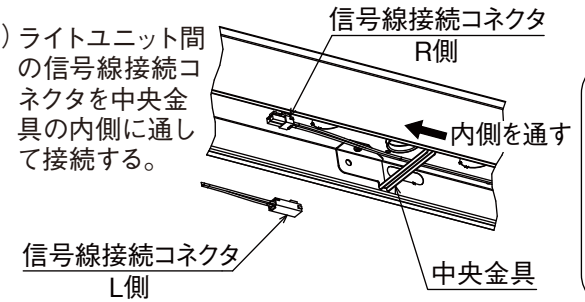
⚠ 警告
信号線端子台には電源線を接続しない (過熱・損傷し火災の原因)

お願い
接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけない (破損の原因)

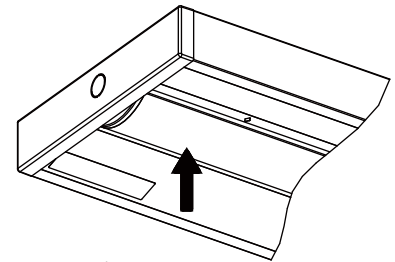
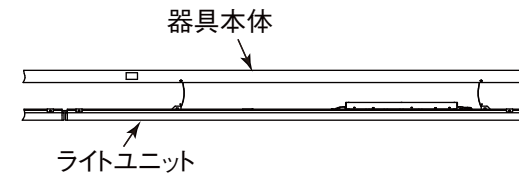


- 信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、解除ボタンを押す。

- ライトユニット間の信号線接続コネクタを中央金具の内側に通して接続する。



- ライトユニットを取付ける
 - ライトユニットを器具本体側に押し上げる。



取付後、ライトユニットLとライトユニットRの合わせ目には、4mmのすき間が空く仕様になっています。

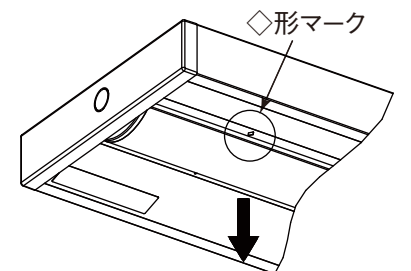
⚠ 警告
コネクタ・リード線を挟み込まない (火災・感電の原因)

⚠ 注意
○押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない (けがの原因)
○器具本体とライトユニットの間にすき間がないか確認する (取付不十分は落下の原因)

5 ライトユニットの取り外しかた

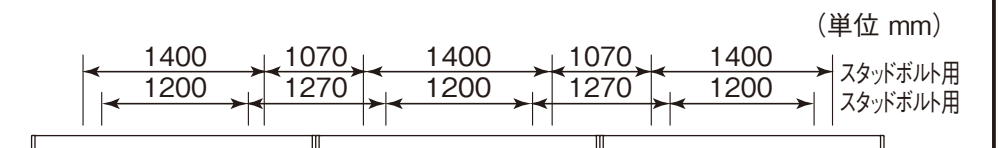
- 器具本体の両端の◇形マークを目印に、両手でライトユニット側面部を持ち、引き下げる。

⚠ 注意
点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない (高温のためやけどの原因)



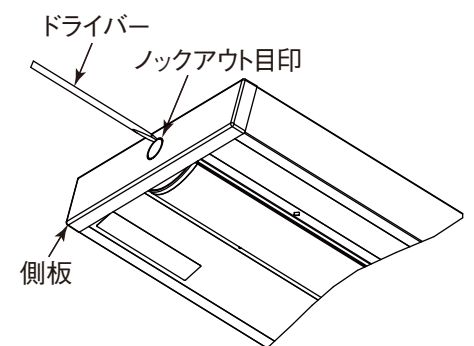
6 連続取付の場合

- 器具の端部をそろえて連結する。本器具は連結金具に対応していません。



※連結数が多い場合(5~6連結以上)
・本体は器具を連結する方向に引っ張り気味に取付ける。
・本体とライトユニットの取付けは中央部から両端に向かって順次取付ける。

- 側板のノックアウト穴を使用する場合、目印をドライバー等で押し込みノックアウトを開ける。
※バリが残る場合は取り除く。



⚠ 警告
器具内に送り配線をする場合は、ノックアウト部分のシーシは残して施工する (ケーブルが傷付き火災・感電の原因)